小樽商科大学学術成果コレクション
Otaru University of Commerce
Academic Collections
Barrel

Title	樺太・共産党・アイヌ -水落恒彦氏に聞く(1)-
Author(s)	今西, 一; 手島, 繁一; 手島, 慶子
Citation	小樽商科大学人文研究 (2012), 124: 1-54
Issue Date	2012-12-26
URL	http://hdl.handle.net/10252/5039
Rights	

This document is downloaded at: 2014-04-28T02:34:27Z

Barrel - Otaru University of Commerce Academic Collections

樺太・共産党・アイヌ

── 水落恒彦氏に聞く(1)──

今西　一
手島繁一
手島慶子

はしがき

私が水落恒彦氏に是非，お会いしたいと考えたのは，1973 年 11 月 14 日から 21 日にかけて開かれた日本共産党第 12 回大会での上田耕一郎氏の自己批判を読んでからである。もう既に 40 年近く前になるが，偶然にも現在，白鳥事件の研究集会を一緒にすすめている，手島繁一・慶子御夫妻が，水落氏の聞き取りをしておられると聞いて，第 2 回の聞き取りから，無理やり参加させていただいた。水落氏は，多少困惑されたようだが，快く質問に答えていただいた。

上田氏は，大会 4 日目の 11 月 17 日，中央委員会を代表して「民主連合政府綱領についての日本共産党の提案」を報告し，21 日に「結語」とともに採択される。だが，「党内からの修正意見のおもなもの」の最初に「アイヌ問題」をあげられている。その内容を紹介すると（『前衛』第 363 号，1974 年）──

> 北海道内に，不完全な官庁統計でも約 2 万人，実際には 5 万人を上まわるアイヌ人口があり，また，東京その他の府県にもアイヌ系住民がいます。最近アイヌ系住民の民族的な自覚がたかまり，さまざまたたかいがすすんでいます。アイヌ系の住民の要求には，アイヌ人の風俗，習慣でくらせる老人ホームをつくれ，アイヌ人の民生委員をつくれ，和人にうばわれた十勝川の鮭鱒漁業権をアイヌ人にかえせなどという要求や，古

典的伝統芸能の伝承，アイヌ語の学習運動など，身分差別廃止をおもな内容とする部落解放運動とは質的にことなる民族的な内容であります。これらを考慮して,「わが国における唯一の少数民族としての北海道のアイヌ系住民にたいしては，少数民族としての権利を保障し，アイヌ文化の保護と保存，いっさいの差別の一掃，生活にたいする特別の対策を実施する」という文章を新しく入れたいと思います。

一読して「人間」を意味する「アイヌ」に，また「人」をつけて表現するのか，という疑問もわいてくる。しかも「わが国における唯一の少数民族」はアイヌだけなら,「在日」の朝鮮･中国人他はどうするのか，などの疑問もあったが，共産党が自分たちの誤りを認めることがあるのだ，と奇妙に感心したことを覚えている。

また「結語」の部分に,「つぎに北海道の水落代議員が発言したアイヌ系住民問題についてでありますが，これをこれをとり入れたことは，非常に大きな反響をよび，19 日付「赤旗」に報道されたようにアイヌ系住民をはじめ多くの人びとに歓迎されております」と語っている。この水落氏の発言は,『前衛』の第 266 号（1974 年）に,「アイヌ系住民に勇気と生きがいを与える」として載っている。

まず水落氏は,「「民主連合政府綱領提案」についての中央委員会報告のなかで，アイヌ系住民の問題についてとりあげられたことに大きな喜びをもって，討論に参加します」と語っている。しかし，もちろん大会の前の会議で,「アイヌ」の問題を取り上げるように訴えたのは水落氏である。後述するように，水落氏は当時の日本共産党委員長の宮本顕治氏に,「貴方はヒットラーなみの同化主義者で，アイヌの問題がまったく解っていない」と激しく糾弾したそうである。これで袴田里見一派だとデッチ上げられて「除名」されそうになるが，何の役もない常任委員という「窓際族」にも耐えて，90 才近い今日でも，居住支部で活躍している。そもそも共産党の大会は，第 8 回大会以降は，シャンシャンの「全員一致」が普通で，水落氏のような勇気ある発言は稀である。

そもそも宮本顕治氏の学んだ「講座派」マルクス主義は，反封建＝民主々義革命の理論であり，一種の近代主義であった。もちろん1960年代に，宮本氏らは「反帝・反独占の民主々義革命」の理論を提起するが（『日本革命の展望』日本共産党中央委員会出版部，1961年），これとても近代主義の枠を超えるものではなかった。従って，この枠組では，被差別部落に対しては「国民的融合」論，アイヌに対しても「同化主義」を唱えるしかなかったのである。これをアイヌ問題から批判した水落氏の発現は貴重であったが，今まで殆ど顧みられることはなかった。

当時のアイヌの人口は，「北海道213市町村のうち，わずか39市町村の報告が集約されているだけ」で，「人口が正確にどれくらいかというもっとも初歩的なことさえ明らかでない」。その「理由は，国や道のアイヌ系住民にたいする政策が，明治時代の同化政策をひきついているだけで，その生活と権利を守るためのものではないから」である。「就職や結婚の問題で差別をうけ」，「アイヌ系住民は，差別と偏見，それとむすびついた偏見のなかで苦しんでい」る。

「中央委員会報告で，少数民族問題として，北海道のアイヌ系住民の問題がとりあげられたことは，画期的な意義をもつことで，どの政党の大会でも，まだ基本政策にもとりあげられたことのないもの」である。「これまでの議論のなかでも，「同化は基本的おわっている。（中略）」とか，アイヌ系住民の自由と権利の要求にたいし，差別はたんなる心理的なものにすぎないという見方もあ」ったが，水落氏は明確に「少数民族問題」として「アイヌ問題」を提起している。

これは後述しているように，共産党の10回大会以降，水落氏らは研究会を持ち，旭川人権擁護委員連合会の要請を受けて，1970年6月26日付けで「「北海道旧土人保護法」に関する要望書」（資料1，後掲）などの文章を作る作業をしている。この「要望書」は，行政文書という制約もあって，一定「北海道旧土人保護法」の役割を評価しているが，明確に同法の廃止を要望している。水落氏は，戦後の農地改革期から運動を展開しているが，北海道の土地

問題を考えると，どうしても「旧土人保護法」のアイヌの所有地制限の問題に突きあたったと語っていた。

これらの活動のうえで，第 12 回大会での水落発言がある。しかし，共産党はこの先駆的な提起を受けながらも，その後積極的に「アイヌ政策」を発展させることはできなかった。そればかりか，日本の多民族化がすすんだ現在の日本でも党規約の第 4 条に，「18 歳以上の日本国民で，党の綱領と規約を認める人は党員になることができる」という国籍条項を堅持している。日本の政党で，このような国籍条項を持っているのは，自民党と共産党だけである。

水落氏へのインタビュは，2012 年 6 月 2 日，札幌市の水落氏の自宅で行った。手島繁一・慶子御夫妻に私と山本隆夫氏が参加した。テープを手島慶子氏に起こしてもらい，山本氏の助力を得て，いくつか水落氏に再確認してもらった。注記は，手島慶子氏が作成したものである。水落氏の視力が低下しているなかで，関係者には大変なご苦労をかけた。記して感謝したい。

水落恒彦氏に聞く

１．樺太と東京の思い出

今西：まずお生まれについて聞かせて下さい。

水落：1923 年 11 月 6 日に樺太，サハリンで生まれました。豊原です。戦争が終わってから一度も行ったことはありません。中学を出て，筑波大学，昔の東京高等師範学校の数学の方へ行きました。

今西：豊原の小学校はどちらでしたか？

水落：第一小学校です。親父がむこうの林業関係の，樺太で言えば林務署の下っ端だったもんだから，子供の時僻地を転々として小学校 3 年生の時，豊原の町へ来て，そこで卒業して中学校へ入って。

今西：お父さんは，林務署関係の役人だったんですか

水落：そうです。下っ端でね。

今西：お名前は？

水落：富蔵です。

今西：お母さんは？

水落：幾代です。

今西：お父さんの御出身はどちらですか？

水落：５歳までは新潟県。生まれも新潟で宮大工の棟梁の家だったけど，明治御一新の後，神社仏閣の仕事がなく経済変動で，明治の終わりに親父が５歳の時に北海道開拓団で渡ったんだけど，ペテンにひっかっかたみたいになって，日露戦争が終わった後，樺太の方へ行った。その時，その父親の宮大工が子供を，一人だったですから，連れて樺太へ行ったと。それで父親が飛び出してちょっと北海道へ来たり，もとの馴染みの先生が白滝方面へ。樺太の林業関係の仕事が金がいいとかね，植民地だから，給料も本州の 1.5 倍，試験を受けてもう一回樺太へ行って勤めた。そして病気をして，僕が小学校３年生くらいの時，退職をして，その関係で豊原の山の麓の，北海道では苗畑と言っていますけど，むこうは苗圃を林務署が経営をしていたから，退職してそこの番人になって。そこがまた潰されて，失業して街の真ん中へ出て古本屋兼新本屋をやった。戦争が終わるまでそういう仕事をしていた。そういう関係で色々なとこに本を納めたり，特高，憲兵隊，小学校中学校。僕も本を持って届けに行ったり。その頃アイヌ問題の知里真志保先生が高等女学校の先生をやっていて，先生のところに本を届けに行ったり。偉い先生だということは僕は大人になってから初めてわかった。あの人登別出身で室蘭中学から一高，東大へ行った。言語学を専門にやっていた。あの頃，戸籍には「旧土人」ってついたんです。あの人が助教授，教授になったのは，戦後くらいですよね。それだけの学歴持ってもうだつが上がらない。立派な業績があるんですけどね。

今西：中学は豊原中学ですか？

水落：そうです。

今西：あの頃の学校の雰囲気はどうだったですか？

水落：ちょうど太平洋戦争が始まる少し前ですから。その前に2・26事件があったり凄い流動的状態なんですよ。だから配属将校の力もあるけれど，昔の自由主義的傾向も残っている。先生の間にも。

今西：豊原は，樺太には師団がなかったんですよね。

水落：日露戦争が終わった直後は守備隊という形であったんですよ。ところがその後の軍縮で，樺太からの軍隊は完全撤退でなくなって。ただし，僕の中学校には陸軍大佐が来て，国境方面の探索をしたり隠密行動をやっていた。

今西：学校にも配属将校はいたのですか？

水落：わたしが入った時はいました。普通のところだと陸軍中尉だとか偉くても少佐くらいだけど僕がいた時は大佐がいました。あとから連隊長になったり。少将になったりして。下の方で準備はしていたようですね。

今西：国境警備はゆるいと言われていましたよね。岡田嘉子の逃亡事件やソ連とのノモンハン戦争が起こるから。それから初めて国境警備を設ける。

水落：そうですね。

今西：杉本良吉と岡田嘉子の越境は。

水落：中学3年の時，ちょうど大人びる頃でしたので。豊原ホテルというところに泊まって，越境したらしいということが報道で出たもんですから，もう居なくなった後ですけど，僕なんかもホテルの前に行きました。岡田嘉子なんていったら，今の色んなスターと違いましてね，トップスターというのは何人もいませんでしたからね。余市に阿部鶴松という，(別名を)阿部哲志さんていう，あの人と話をした時にどっから何処まで運んだか知らんけど，あの人が漁業で船も持っていましたから，船で運んだって言ってました。

今西：彼が岡田さん達を運んだですか？　共産党員が杉本さんの入露を助けているとすれば，党の密令で行った可能性が強いですね。

水落：そうそう。樺太の何処へ揚げたかかというのは聞き漏らしたんですが。

しげかず：北海道は何処から出発したのですか？

水落：ちゃんと聴けば良かったのにね。阿部さんも死んじゃったしね。北海道の共産党地方委員会で阿部さんと一緒でね，気が合うものだから，雑談が

多くて。阿部さんと北方問題とか，上の方に聞かれたらまずい話とか色々して，あの人年上ですからね，あの人，(私を)変わった男だと思って可愛がってくれた。色々な秘密の話をしてくれた。今になって思えば何処から乗せたのかね。とにかく東京から樺太に行くまで，岡田嘉子が汽車の中で弁当食いながら行くとは思えないですよね。その頃，日本と満州は石炭の運搬船というのがよくあそこに隠れて樺太へ行くとか，樺太から，大連の方ですか。

今西：小樽とか稚内とか可能性は色々ありますよね。

水落：そうですね。わたしも稚内と大泊というのは警察もうるさいし。僕の知っているのに樺太の特高の課長をやったり，それから大泊の警察署っていうのは公安のところの署長だから，かなり公安関係ではうるさい奴を。小樽から大泊へ行かないで，真岡とか本斗とかへ行く。西海岸。冬も凍らないから。岡田嘉子が何処を通って豊原に来たのかっていうのは聴いたことはないんですが，普通は密航するとなれば，本斗とか真岡とか，小樽です。豊原という街は細くなっているところがこうあって。本斗，真岡の方から越えると豊原の方に，山道から入れるんですよ。細いところから西海岸の方からソ連の方と向かい合っているところ（北緯 50 度），あっちの方は凍らないですからね。シスカというのは東海岸ですから。あそこから入ってソ連の方に抜けたんではないかという推測なんですが。その先のことは阿部さんは何もタッチしてませんからわかりません。

苗圃というところで働いているのは，昔アカとかいって監視がついているのがいて。僕もその人らに頼まれて作業小屋があるんですよ。そこへ握り飯持って行ってくれって言われて，藪の中へ入って届けたことがあるんですよ。そしたら，端然として座っていて変わったオーラがあるような人がいた。函館で 1927 年 12 月，日本共産党の組織を結成した武内清でした*。後から考えると，武内清が釈放された後，樺太のエストリというところは鉄道の，あそこに左翼運動をやっていた人がいる。色々な新聞を出した人がいて。武内清があそこへ行って，鉄道のないエストリに行ったということは口伝えに色々あるんですよ。治安維持法同盟にもある。武内清がエストリに行って，樺太

のくびれたところから山を越えて行ったら，武内清が豊原に入って，エストリに行ったということも考えうるなと思います。

(* 1927 年 12 月，武内は函館で共産党を立ち上げたが，1928 年 3 月 15 日の弾圧で投獄され，2 年か 3 年後満期釈放されて，樺太に渡った。水落が山の中の某に食事を持って行ったことがあるが，宮田汎氏の話で，某とは武内清のことではないかと思いあたった。)

今西：それ何年頃ですか？

水落：僕が小学校の 3 年，4 年くらいかな。武内さんは，3.15 で捕まっても，あの頃は一応刑期を終えれば釈放されてましたからね。ちょっと余談になりましたけど。

今西：岡田嘉子の事件ですが，杉本良吉は北大にもいたのですが，農学部にね。あの事件の後ノモンハン事件があって，一年後です。それで国境法ってのができるんですよ。樺太に来てた兵隊というのは旭川から来ていたのですか？

水落：そうですね。第 7 師団。あの時，憲兵の問題でも，あとから憲兵がおかれるようになっても北海道旭川第 7 師団からの憲兵なんだけれども，法律上で北海道の，樺太は外地だったんですよね。昭和 18 年，4 月に内地になっています。憲兵隊も二重性格なんですね。外地の憲兵隊と。今ノモンハンが出たんですけど，ノモンハン事件で有名を馳せた鯰江大佐ってね，それが僕の中学の配属将校で入ってきたんですよ。ノモンハンと岡田嘉子の年代のずれっていうのは，どちらが先ですか。

今西：岡田嘉子が先でノモンハンが後ですから。

水落：だから樺太は特殊扱いでね。徴兵検査は数え年，僕は本籍が樺太なもんだから，学徒動員のちょっと前ね，東京から帰って，徴兵検査を受けたんですよ。その時の徴兵官が陸軍大佐で，その頃僕も格好良かったんです。筋肉隆々として。

しげかず：今でも大きいですものね。

水落：いやいや。終わったら呼ばれてね，その大佐ちょっと来いっていうん

で。要するに俺の方の子分になれってことなの。まだ2・26事件の後でも皇道派と統制派の権力争いが続いていましたからね。自分に有利な方に唾つけて派閥広げる。

今西：その頃の軍は統制派ですよね。

水落：握っているのは統制派。実力的には皇動派がやっていたけれども，全体の雰囲気とすれば統制派。力関係からすれば統制派。

しげかず：大佐が徴兵官として来るわけ？

水落：僕もよくわからないけれど，実力者ってのは参謀でもなんでも大佐です。徴兵検査ってのは自分の分しか知らないから，徴兵官てのは連隊長級が来るのかなと，僕も旭川の連隊本部に行ったことがあるんですけど，連隊長が歩いていたら神様が歩いているようなもんですからね。徴兵官がその時大佐なものだから，連隊長クラスが検査に歩くのは大変なことだと。僕は数学科で一応理系に入ったから，学徒動員の時は理系ということで引っ張られなかったということもあるんだけど，その前に対ソ戦争を意識して，樺太に本籍を持っている奴は樺太の部隊に入れるなという命令が出たんですよ。僕が配属されるのは国境線のケトンにだいたい師団級のあれがあって，前線がケトンというところなんですよね。ケトンの1121部隊が僕の軍籍のある部隊だったの。でもその命令一下ね，宙に浮いちゃったの。俺も大佐から声もかけられているから。

今西：軍隊には行かれたんですか？

水落：昭和18年に東條の手による中野正剛事件があったですよ。あれは割腹自殺というけれど，正剛の自宅に憲兵が，要するに腹切ったようにして殺したんですよ。その頃東條暗殺計画ってのが沢山あったんですよ。中野正剛が早稲田出身ですからね，早稲田の近くの拓大の学生やなんか，憤激してね，ひどかったんですよ。東條が民間人15人くらいかな，怪しい奴をしょっぴけってんでね，憲兵隊が15人一斉逮捕に乗り出したの。そしたらそのリストに水落恒彦って書いてあったの。その時まだ学生で東京にいました。とにかく14名は捕まえたんだって。

今西：中野正剛は東方会ですよね。

水落：中野正剛の真意も僕はわからない。要するにヒットラーの制服の真似してる。東條よりももっと右の角度から東條の戦略を，朝日新聞で批判する。

今西：彼は自作農創設とか小作料金納化の要求で，旧農民組合の人たちを組織していたから。

水落：ヒットラーの真似をしながら何か腹に一物あったのかと。石原莞爾ってのは，凄くフアンが多かったんですよ。

今西：樺太の高官っていうのは中川小十郎ですか。

しげかず：立命館の総長をやった。

今西：彼が樺太の統治をやっていた。彼が石原莞爾を呼んで，立命館に研究所を作ったんですよ。

しげかず：さっきの話で何故水落さんの名前があったんですか？　指名逮捕リストに。

水落：俺は全く関係がなくて。

今西：早稲田派とも関係がなかったんですか？

水落：中野正剛に，例えば右翼で言えば，頭山満なんかは中野正剛を支持して，間接的な意味で言えば反東條的でした。東京で僕の事実上の世話をしてくれた叔父が，頭山満の子分でした。滝野川からあの辺一体の。本当は歯医者をやっていたんですけれど，歯医者やりながら，先生，先生って言われていたのは頭山一門なんですよ。それも何かあるのかしれんけど，頭山は中野正剛が死んだ後駆けつけている筈です。僕も学校での言動は右翼でもない左翼でもない，やばい言動もあったし，本当は文系志望だったのが，理系に追い込まれたのは理由があるんですよ。その頃樺太憲兵隊のマークが入ったんですよ。学校が早稲田とか拓大に近かったですから。拓大の学生も物凄く憤激をして，東條に中野正剛やられたって言うんで，殺気立っていたんです。僕はその時，東大の医学部の中に海軍の委託生っていうのがあるんですよ。東京生まれのあれが海軍に入る前にスキーというものをやってみたいから，スキーの道具をもって来て，年末から正月にかけて，憲兵隊のガサ入る頃は

蔵王の山へ行ってスキーを教えていた。温泉に入って，スキー教えて星を見ていい気持ちでいた時がガサの時だったんですよ。

今西：憲兵隊にはその頃から狙われていたんですか？

水落：その頃付き合っていた南京政府の留学生揚昇（ヤンション）が，憲兵隊のスパイだった可能性があります。彼の密告があったのではないかとも考えています。

今西：樺太でも憲兵隊に狙われていたのですか。

水落：樺太にいる時は豊原憲兵隊に狙われた。憲兵隊は治安維持法と違って年齢制限ないですからね。赤ん坊であろうと殺すしね。それで申し送りは東京の憲兵隊の方に行っていたんですよ。

しげかず：中学の時から目をつけられていたということですか？

水落：何か起きると影であいつがやっていたと思われた。どういう訳かなるんですよ。

今西：豊原中学では何か運動はあったんですか。

水落：僕より何年か前くらいの，篭城したストライキ事件とか。

今西：朝鮮人とかがわって豊原で反戦的な言動をしています。

水落：おおっぴらになっているのは僕より５年くらい前の，中学でね，篭城したり色々です。

今西：学生が反戦的発言をして問題になったりしましたか。

水落：僕らの頃になると抑える方も抑えているから，何かあっても闇から闇なんですよ。その時もやっぱり騒動なんだろうね。教室に立てこもったりしたこともあったり，その前の鯰江大佐くらいが配属将校でいた頃は，ぐっと睨みも押さえも効くんですよ。その後に来た奴が下っ端なもんだから，やることも下手で，自分の言うことをきく生徒を子分にして動かすということをやるでしょう。貴様何だと言って殴ったりして騒動になって。僕は何もしないんですよ。ところがあの野郎がっていうことで，僕が学校から帰る時に，４年生くらいかな，先生の中にも軍隊に引っ張られて，八路軍にぶち抜かれて顎半分になっているのとか，右翼的な奴が一杯いるの。海軍兵学校で病気

になって帰ってきたとかね。そういう連中が右翼の塊なのさ。それがね，僕の学校の帰り，空き地のところで，６，７人が待って立っててさ，「待て」てなもんで，ぶんなぐったり，「てめえ何だ。俺はちゃんころに顎打ち抜かれて。それでも，お前，戦争反対なんて言うのか」と。

しげかず：水落さん，身に覚えが無いといっている割には，何かやっぱりあるんでしょう。

水落：影で操っているのはアイツだということになるんでないか。中学もそうでしょう。憲兵も，豊原憲兵隊から東京憲兵隊に申し送りがあるわけ。普通小さいところの憲兵隊はせいぜい下士官ですよ。曹長とか軍曹などはいい方さ。例えば室蘭みたいな憲兵隊だと中尉くらいです。東京憲兵隊っていうのは，四方（諒二）という大佐が隊長なんですよ。四方という大佐と秘書官というのも軍事政権だから，赤松っていう大佐がいつも官邸にいるわけ。東京憲兵隊の隊長はいつも東條の横にいるんですよ。そしてずっと調べて。俺は何もしてないですよ。

今西：誰かが反戦的言動をしていたと報告していたんですよね。

水落：それは上の四方の眼（スパイ）ですよ。例えば寮にいても，その頃古本屋に行けば，叢書でマルクス伝とかマルサス伝とか本はまだ残っていますから，僕が寮で本棚にマルサス伝を並べて置いてあったんだ。何処でも有名な話だけどね，マルクスもマルサスも，刑事は知らないから，両方の本を押収する。

今西：捕まった人たちの話を聴いたら滅茶苦茶ですよ。赤い本を持って行けというので，表紙が赤い本を持って行く。

水落：だいたい味噌も糞も一緒だからね。

今西：トップでも軍曹程度の連中が来るわけですからね。

しげかず：水落さんが豊原中学に入学したのは何年でしたっけ。

水落：昭和 11 年です。東京高師に入ったのが一年遅れた。色々事情がありましてね。合格したのが昭和 16 年。太平洋戦争が始まる前に合格していた。学校に入ったのが昭和 17 年の 4 月。その時は太平洋戦争始まっていたんです

よ。

今西：理系に入ったんですか。

水落：そうです。数学が専攻です。それも経緯ありましてね。本当は文系を志望していたんですが，中学校の先生が，俺の騒動あった時の担任が内申書に永久に学校に入れないようにしてやったとか言って，お前のお陰で俺は首になって行くんだって怒鳴って，それで気の毒がって，元左翼で別なところの先生が,「文系は危ないから」，それが歴史の先生なんだけど,「東京高師の数学を受けるんであれば，推薦は書いてやる」って言うの。その頃 10 何倍かで競争率が高かったんです。その先生もね，そこまで面倒診てもどうせ落ちるんだからと思っていたら入ちゃったもんだから。あんまり好きでなかったもんだから，何もわからないの。

今西：東京で生活されていたんですから，東京大空襲も経験されていたんですか？

水落：東京の第 1 回目の空襲は 1942 年の 4 月 17 日か 18 日でした。寮が小石川区の大塚，高台にあったんですよ。いい天気でね。飯喰って，寮の二階に腰掛けて見たら，ブーンといってそれからドドドーンと高射砲が鳴って，それから空襲警報のサイレンが鳴って,*僕が見てる限りでは早稲田の方に落とした。それでそのまま中国の方へ行って，降りたんですね。東京そのものの空襲は，空襲終わってから東京へ帰ったんですが，それから二カ月くらい東京と京浜工業地帯の連日の空襲の時はそこにいたんですよ。何をやっていたかと言うと川崎の鉄鋼のところをわたり名目は陸軍の戦闘機のエンジンの開発です。暗殺未遂事件，憲兵隊と学校側の手打ちで病気で休学ということにして，追い出せということになったの。蔵王でスキーをやっていた（1943 年末～44 年正月にスキーで蔵王にいた）話は絶対しなかったから，海軍の方は影響するから。海軍と陸軍，仲悪いから。教えたのが海軍の委託学生だったからです。

(* 早稲田を爆撃して中国の方へ行ったというのは,「ドーソットル空襲」(1942 年 4 月に行なわれた初空襲。本来はまず，レーダーで発見。即座に空襲警報発令。敵機

が来ると，高射砲でというのが本当だが，多くは上記のように高射砲が先であった。）

今西：証拠はなかったんですか？

水落：憲兵隊がむこうの部屋に来て，陣取っていて，教授二人に俺を調査，訊問を。だから証拠（暗殺未遂事件の一味である証拠）がないもんだから，憲兵隊の方もそこで捕まえるってわけにもいかない。東京師範とか文理ってのはおかしい話なんだけど，たいていあの頃の文部次官がお払い箱で校長になってくるんですよ。文部官僚のトップなんだけど，教育握るの。自分のところから，そういう縄付きが出たっていうのは困るものだから，一所懸命取引やっているわけ。それで病気休学ということで，書いてもらえば終わりにすると言って，教授が二人が来るから，俺も腹たったから，どこも悪くないんだからさ，何も病気で休学することないって。そんなにつっぱたら危ないよって。それで休学ということになり，その時に行方不明っていうことにして，処分するってことになったの。憲兵隊ってのは空襲の最中は狙いつけている奴をバーンとやって，死骸の山へぶん投げてやるんですよ。その時に行方不明ってことが。それで親に引き取りに来らせろと。逃亡したら困るってこともあるんでしょう。

樺太から 1944 年，うちの父親は呼ばれてもらい下げにきたの。それきり俺の戸籍がなくなってしまった。俺も北海道に来てから，必要があったから，筑波大学の学生課に証明を頼んだら，この者は行方不明により証明を出せないっていうのが来た。腹たったから破いて捨てた。学生課じゃあしょうがないと思って，学長，これが俺の後輩だったらしいの，学長命令ってのは，東京から筑波に移ってきた時は焼け残った書類一切を持って来て，地下室に放り込んであるわけよ。学生課はそんな物探すのは面倒くさいものだから，リストみると行方不明になっている者は卒業もしていないし，中途退学でもないし，それでポンと返事寄越したの。学長に直接手紙やったら学長命令で，地下の倉庫を探したら，２年生くらいまでの分かな焼け残ったかけらが出て

きたんですよ。ドイツ語の成績良くってさ。行方不明につきという紙しまっておけば良かった。俺も自伝をつくる気はないんだけれど。*一年間ということで休学届け出したの。むこうは永久に終わりと思っていたのさ。一年経っていったのが東京空襲の直後さ。次の学年，行方も全然わからないんだけど，そこ担当している教授が迷惑そうな顔をしているわけよ。実際に動かしているのは先生ではなく憲兵隊らしんだよ。そこへ行ってやることが川崎の鍛鉄を鋼鉄にして。その頃はジュラルミンだとか，まだ鉄鉱石から鉄作ってね，そういう作業で2カ月くらいかな空襲で滅茶苦茶になって，今度は日光の山奥に特別工場があって，用事があったら呼び出すからそれまでどっかへ行ってろってことになって，簡単なもんだ。その頃ね焼けたら戦災証明という紙をくれた。それをもらえば無蓋の列車でも何でも被災地から貨物列車で行ったり来たりした。それ見せれば乗れたの。それでどっかへ行ってろってことさ。

(* 一年間というのは，休学は一年だった。学校としては，休学ということで，憲兵隊と手を打ち，水落とも手を切ったと思っていた。)

今西：敗戦の時は，何処へ行っておられたんですか？

水落：東京で動いている時は東京の憲兵隊っていうのは網があるから，豊原の憲兵隊に居場所を言えと。それで行く先がないから，ここ手稲へ来たんですよ。それが終戦前の7月かな。僕の叔父が今の手稲の小学校，昔の軽川小学校（今の手稲小学校）の校長をやっていた。俺の親戚には出入りするなってことになっていたわけ。国賊だからね。でも行くところないからしょうがないから。うちの母親の親戚に，陸軍の偉いさんがいて，影から応援してくれるの。水落はカンカラカンなのさ。仕方がないからそこへ来て泊めてもらって，ワラビ採って飯の足しにしたり。7月14，15の北海道空襲かな，そこへグラマンが来て，軽川駅に石油タンクあるでしょう，ダーッてやって。終戦の一カ月前です。ちょうど。それで3日3晩燃え上がって。国内で石油採れるのは新潟と秋田の油田と三番目が石狩油田なんですよ。それで石狩高岡の

方から，石狩川の中をパイプ通して地中にパイプ埋めたのが，日本石油です。

俺この頃何とかの会に呼ばれて言うのはグラマンが来てさ，ダーってやってたのを見てたのはたいてい子供はいるけどあまりよく知らないっしょ。たいてい死んじゃったの。手稲の歴史的な記録ではグラマン機 2 機が来て，3 日 3 晩燃えたことは出てるけど，人畜被害なかったてことで終わっているんだけど，本当の狙いは室蘭に戦艦艦隊が来て，日鋼とか襟裳岬の方は航空母艦の艦隊が来て，グラマンの目的というのは，高岡の油田地帯の攻撃をやることだったらしいの。でもその頃地中に埋めちゃって石狩とか厚田の方へ走ったけど，油田地帯通り過ぎちゃって，戦闘機だからね爆弾積んでも小さい爆弾がちょっとでしょう。石狩で落としたり，厚田で落としたりしてむこうが犠牲になったんだけど。

記録上ではグラマンが銭函から来て手稲山に登って急降下して，手稲駅の傍のタンクに爆弾を落として燃えたって書いてあるけど，俺の言うのは戦闘機が爆弾は積めるけど，その頃プロペラですからね。そんなに沢山積めないし急降下して爆弾落としたら自分も死んじゃうから。僕が見ていて，1 機は機関銃。もう一方は機関砲だったの。機関砲は重たいから爆弾は積めないのと，機関砲の砲弾のかけらと小型爆弾のかけらとおそらく見分けが付かなかった思う。そのかけら何処へ行ったのかわからないんだけど，後から記述する人は，爆弾のかけらを拾ったという人もいますから，爆弾で火災を起こしたと主張するんだけど，俺も根拠はないんだけど，俺の友達の戦闘機乗りの連中から聞いて，いやあそれは戦闘機が急降下して爆弾命中さすなんて不可能だわって。だいたい上空から落としますからね。

7 月 15 日終わったので，俺は居場所を必ず豊原憲兵隊に報告しなければならないんですよ。空襲終わったから，今は手稲本町のところにある郵便局，あれが原っぱの真ん中にあったから，報告しないでさ，人民弾圧は細かくやるんだよね。警察は。ドンとやられては嫌だと思って電話したの。そしたら豊原憲兵隊がずらかっていなくなってたの。憲兵隊っては真っ先にやられるからね。特高よりもひどくやられるんだ。これはいいと思った途端にね，俺

が初めて見るんだけど，校長の遠い遠い親戚の北見の百姓のおとっつあんがね出てきたらしい。何だお前いい身体しているなあ。この戦時下遊んでいる。田んぼの草でもとれって。これは幸いだと思って，憲兵隊はずらかったしさ。このチャンスをおいたらと軽川駅から鈍行だよ，急行なんか乗れる身分じゃないからこっからずっと行って北見紋別，百姓のおとっつぁんの所です。

(* 7月15日にはポツダム宣言受諾は，憲兵隊にとっては既成の事実であり，憲兵隊は一番重い処分をされるので，さっさと逃げた。)

山本：お名前は？

水落：名前。死んじゃったけどね，ちょっと出てこないな。

今西：ここにいらした時の生活は，叔父さんが助けてくれたのですか？

水落：ほんのちょっとの間だから。俺も防空壕手伝ったりさ，それで食い物ないでしょう。学校の先生の奥さんなんてよもぎ集めてちょっとした粉で団子汁。草の根掘ったりさ。俺はそういう点では貢献している。探せば喰うものあるんだよ。原っぱの中ね。俺も追放されたりしている時樺太の島で，白菜をがらがら積んで，豊原の町まで売りに行って。20代の終わりくらいの奥さんが，小父さん，小父さんって。俺その頃年くってたの。戦争が終わった年が21だから，それが毛が生えていてね，その後，戦後のことだけれど，アイヌ部落（十勝の幕別のチュロット）に行ったら若い衆集まって，水落さんはアイヌかアイヌでないか，という議論するの。話が肝心なところへ行ったら日本語使わないので。

今西：アイヌ部落は戦前はどうでした。

水落：樺太アイヌはいるんですよ。豊原の町の傍というより，海岸線の色々なところに。僕が小学校に入った年，小学校1年から高等科まで同じクラスだった，その後2学級になった。1年から4年までと5年から高等2年までの新しい学校に入ってすぐ，結婚したんだけど，その部落には転々とアイヌ部落があって，何処かから逃げて来ると，良し悪し問わず匿うんですよ。おそらくあの頃アカいのも匿ったと思う。それで，匿っただろうということで，

竹刀で叩かれたり拷問されたりしている，崖の下でやっているのを子供達が崖の上で見ていて，叩かれて悲鳴挙げたり，アイヌの人がやられるんだわ。

(* アイヌは外から来る人を全てを神とみなし，助けを求められると無条件で助けたり匿ったりした。)

今西：朝鮮人の方は？

水落：朝鮮人は同じクラスにもいました。小学校で，二人並んで，板の蓋を開けると。俺の隣に金有声が結局は朝鮮に還らないでしまった。

(* 敗戦直前，勤めていた豊原の王子製紙が本土（北海道苫小牧）の工場へ移転を始めていたが，金有声は還れなかった。)

今西：戦前，朝鮮人はどんな仕事をしていましたか。

水落：パルプの仕事かな。

今西：戦争末期になると二重徴用というのがあって，朝鮮人は本州に送られていますが。

水落：金有声は王子パルプかなんかの苫小牧のパルプに移って来て，九州の方に行ったのかな。

今西：45 年の 8 月 15 日は。

水落：朝鮮人そのものは出れないの。

今西：米ソの引き上げ協定の中でも，朝鮮人は残されます。

水落：金有声ってのは王子製紙の労働者になって，苫小牧の王子製紙以外に移った。九州で死んだんですからね。

今西：豊原に朝鮮人のコミュニティがあったわけではなかったのですか？

水落：ないですね。ばらばらでした。職業はうまくいって工場の下っ端の労働者だったらいいほうで，本州の部落民と同じで町のはずれのどっかで，掘っ立て小屋みたいなところで，住宅の豚の餌にするそれをもらって歩いて，街の外で豚を飼って，豚肉を肉屋に売るなり色々なことをして，そういう暮らしが多かったですね。白系露人もいて（白系ロシアは革命に反対したロシア

人)，ロシア革命の時に貴族のつながりで亡命してそのまま第1次大戦が終わっても，豊原に残っている。同じ学校にいましたね。

今西：ポーランド人はどうですか？

水落：僕の町にはポーランド人はいなっかったですね。どっかにはいたようですね。

今西：先住民にはニブヒとかいますね。

水落：国境近くのオタスの森に，そこに少数民族を集めて，博覧会，展覧会に見世物のようにしてステージのところに小屋を作らせて。

今西：人間動物園ですよね。

水落：そうそうそう。今は呼び名は変わっているけど，オロチョンとか色々。

今西：ニブヒ，ウイルタとか。

水落：そうですね。オロッコがウイルタって言っているのかな。後で北海道に来て，ウイルタの人が。僕ももらって彫り物を置いてありますけどね。

山本：ゲンダースさんですね。

今西：8月15日は何処に？

水落：8月15日は，今話した，紋別郡上湧別村，その頃兵村4区っていっていましたけど。

今西：そこで作男をやっていたんですか？

水落：親戚のあぶれ息子扱いで，そこへ泊まって。

今西：作男ではなかったのですか？

水落：労働はひどかったですけど。身分的には遠縁の扱い。校長先生のところであって引き取ってきた。樺太では馬追いもやったし，腕は良かったんですよ。それで飯喰ってました。

今西：樺太には，共産党などの組織はあったのですか。

水落：日本共産党が作られた1922年以降，コミンテルン支部として認めてくれという場合もあれば，名指しで結成の中核をつくっておいて，コッミンテルン日本支部と認めておいて，実際には樺太が外れているんですよ（樺太は日本の外地であった)。俺が戦争が終わる一カ月前に北海道にいたということ

は。10 月に刑務所から出てきたもともとの共産党のオジサンさん方にしてみれば不審なんだよ。

(* 自称でカラフト共産党と名乗っても組織的に認められたのではなかった。)

今西：少し柔らかい話をしましょう。豊原に遊郭あったでしょう。遊郭に行かれたことはありました？

水落：ないです。まだ中学生だもの。

今西：早熟な中学生もいますよ。

水落：中学生ぐらいで行った奴はいるんでないかな。

今西：遊郭はどの辺にあったんですか？

水落：市街地のあまり外れでないあたりです。札幌でも町が小さい時はススキノの遊郭でしょう。

しげかず：（札幌は）後には白石。菊水のあたりです。

水落：豊原の町もそんなところに遊郭があって。僕が中学に入った時，遊郭の息子が凄く勉強ができて，成績いいほうから級長，副級長ってなったんですが，４番目くらいで，遊郭の息子が級長になっていましてね。ただね肩身は狭かったみたいですね。俺は，女の子にアタックされるということはあったの。危ないところまで。本当。そこでね，もう少し野心を持てばよかったのさ。

今西：遊郭ではどんな女が働いていました？　やっぱり本州から来てたんですか？

水落：あちこちですよ。

今西：朝鮮人もいました？

水落：いたんでないかな。僕は中学卒業してすぐ離れましたからね。よくわからない。

今西：アイヌの人達はいなかったんですか？　旭川遊郭にはアイヌはいたんですよ。芸者もいたんですよ。

水落：これは，戦争終わってからの話だけどね，日本の遊郭も閉鎖されて，

慰安婦として船に乗せられて大陸に運ばれたでしょう。戦争負けて，ぶっとばされて，帰ってきたもと遊郭の，白石，菊水の遊郭で徴用で満州の慰安婦になってこっちへ還されて，筵の小屋かけしてね，住んでいた人達の中には白石遊郭から満州に連れられて，戻されても行くところがないから川原で生活していた。

しげかず：さむらい部落ですか？

水落：その次くらいがさむらい部落。

今西：女学生にアタックされたんですか？

水落：何となくふあっとアタックされたんだけど，中学校時代とか。

今西：どうゆうふうにですか？　同期の中学生くらいにですか？

水落：中学生時代になると，うちの町ではない寄宿舎に入っている子とか知り合いの子とかいるでしょう。それがうちに遊びに来たり，見えないところでちょっと手を握ってきたり。

けいこ：積極的ですね。

水落：女の人の方が積極的だよ。どっかに泊まっていた時，俺も風邪引いて熱出していたから，全然反応が悪かったんだけど，布団の中に入ってくる。普通の人なんだよ。女の人って決心決めたら凄く強いからね。俺はアタック被害ってのは結構あったの。相手の女の人も 21 歳くらいでないかな。いやあ，北海道で。

今西：北海道の人ってサバサバしている。北海道の人って好き嫌いがはっきりしている。京都の女の人はあんまり表情に表さないから。北海道の人は見ただけでわかる。

水落：そういうジャンルで実績がないというのは。いつも追われ追われている環境が多かったから。

今西：遊郭へ行くとかはなかったんですか？

水落：なかったですね。

今西：奥さんと結婚するまで，恋愛経験はないのですか？

水落：奥さんともね，俺，結婚する気も何もなかったのさ。アタックされて

どうしようかなと思って。流転の生活だからね。飯も食わせてやれないしさ。そのうち，これはというのを準備できるように努力します。

しげかず：雑談ついでに聴いておきますが，手稲郷土史研究会で大月さんの話をするという。

けいこ：終わったんですか？　これから。

水落：だいぶ前ですか。

けいこ：インターネットで出て居たんだって。手稲郷土史研究会で。

今西：これからだったら聴きに行きたい。尼港（ニコラエスク）事件の後に，尼港復讐ということで右翼が大陸でロシア人を殺してますよね。

　会長は今誰なんですか。責任者は。

（* ニコラエスクでのシベリア出兵に伴うロシア市民との殺戮と，それに対するロシアパルチザンによる市民を含めたテロルが行われる。）

水落：今年変わってね。ここで中学校の校長をしていた人です。茂内さん。ここの郷土史研究会というのは 6 年くらいでまだ新しいんですよ。あちこちにあったのをまとめて郷土史研究会にしたのが 6 年くらい前かな。町内連合会の会長とか手稲区の区長をやったみたいな人がどちらかというと行政手腕みたいなもので，奉られて，一応何年かやったんですが。教育大を出て，学校とすれば，学校で持っている考古学の材料とか。茂内さんは文献歴史学ですから。山口の部落で長州から持って来た古文書とか古文書の解読とか，そういうのは得意らしんですよ。

2．敗戦と戦後の農民運動

今西：8 月の玉音放送は何処で聞いたのですか？

水落：上湧別で聞きました。

今西：放送の内容は，わかりました？

水落：雑音よりも，ラジオがあちこち壊れましたから。8 月 15 日は農家ですから，僕はラジオ直しながら聴いて意味はわかりました。話を帰ってきた人

にしたら，ばっかなこと言ってと言われて，始めは信じられなかったらしんだけど，どっかへ行って，やっぱり負けたんだってっていうことになって。

今西：始めは，まわりは信じられなかったんですか？

水落：直接ラジオを聴かなかったていうせいもあるんですよ。農家でね，8月15日，お盆だから，どっか遊びに行くとか親戚のところへ行くとか，ラジオを直してまで聴くというのはあまりいなかたんだよね。聴いてもわからなかったっていう人もいるし。

しげかず：お盆ですものね。

今西：それで敗戦になって，生活を立て直そうと考えられたんですか？

水落：その時，偶然なんですけど，うちの母親の系統の親戚なんですが，僕は知らないけど，母親の系統が昔福島で地主だったもんだから（水落の湧別の親戚も福島の地主），僕が身を寄せていたそこの人が，作男をやっていたらしんです。そこへ樺太から婦女子引き上げで，たまたまそこを頼ってきたんですよ。結果的に言うと生きていくよりしょうがないから，あの辺が屯田兵のあとですから，屯田兵のむろがあちこち残っているんですよ。むこうから来たのがおふくろの姉と下の妹と，女だけが来ましたからね。女どもは水田の草とりやら林檎の収穫とか，僕はその辺の山稼ぎかな。山子。きこりのことを山子って言うんですよ。僕は馬を扱うのが上手なものですから，切り倒した直径何メーターかの丸太を山を下ろすの。そういうの好きなものだから。

今西：樺太は山から木を下ろすのは馬ですよね。

水落：僕はね，親父は林業関係で，役所の下っ端だったから，山廻りはしないでいた。

今西：それは引揚者の開拓ですよね。

水落：開拓となるとちゃんと許可が必要になるが，次の年の春，そこは屯田地帯で物凄く窮屈なところなんですよ。土地の所有にしてもはみ出すところがないの。母親のつてもあったんだけど，北見紋別の中ですが，元紋別というところの農家が離農して空いているところの話がきた。ボロの家ともと畑が4町くらいあって，飛び地で7町歩くらい。そこに移る前の上湧別に，東

京にいた叔父から連絡が来たんですよ。その近所に，今で言えば筑波大学だけど，医大の体育の先生みたいなのが近所にいて，学校の方で俺を追い出したことは知っているわけ。その教授は叔父と仲が良かったから，名誉回復して学校に戻ってきて欲しい（復学）と連絡が来たんだ。俺も，飯も喰えないで断わった。まあ兎に角学校へ行けば何とかなっただろう。それと経緯が経緯でさ。当時の憲兵隊と教授の言い分に腹たてたの。教授は悪い気持ちで言っているわけではないんだけど。小さい声でこのままでいったら危ないよと。

今西：結局復学されなかったんですか？

水落：経済的理由もあるけど，僕も憲兵隊のかわりに訊問した二人の人って，凄く優秀な人なんですよ。一人が 30 代。一人が 20 代。そのまま行ったらノーベル賞をもらうくらいの。そういう点では尊敬できるんだけれど，耳打ちした。どうせこの戦争は負けるんだから。とそう言っていながら，妥協するような。戦争終わったあとに，その他でも，中学校の先生でも戦争が終わった途端に，生徒を再び戦場に送らないとか。まあ，その人の立場もあるんだけどさ。そういうのがムカツいて還るのを断わって。元紋別。馬飼ったり。

今西：畑ですか？

水落：あの辺は畑作です。ほんの少しで。百姓やりながらなんだけど，紋別の町役場の書記にやとわれた。農地改革が始まるので，農地委員会というのができて，土曜日は半ドンで日曜日休みですからね。そこの書記というと，役場の職員並の待遇だったんですよ。あの頃まだ，国家公務員，地方公務員の区別がなかったですから，中級くらいの給料もらえる話で。そこへ顔を出している時に進駐軍がくるでしょう。役場でも通訳おいているの。もと警察官でね。だけど即席の英語の勉強なものだからなかなか通じないのさ。* 俺も英語は下手だけど，意味通じるほうは上手いの。横にいて，なんとかかんとかと。アメリカの兵隊，通訳よりも俺の方を向いて，だって意味わかればいいんだから。俺割合そういう能力あって。百姓やりながら書記やって，英語サークルを手伝ったりして，結局そこで給料もらって。それから労働組合始まるとか，農民組合始まるとか，協同組合ですね，何か知らずみんなに関わ

ちゃったの。農地改革の時になってきたら，中浜明さんが委員にもなったのかな。* 広い意味での役割をあの人は果たしているし，他の組織，農民組合とか作って。俺がそこの書記みたいなことをやって。労働組合のつて，わからない者が多いものだから，ちょっと知恵かしたり，農業協同組合，知っている奴を農業会の方に入れて，農業協同組合への切り替えの時，占領軍が日本の現状がわからないままに，色々指示してきたからは大変だった。たこの脚みたいに色々なことをやっていて。

(* 社会科学的な概念を知っていることが大きかった。)
(* 中浜さんは自作農代表だったが，有識者代表だったか忘れた。)

今西：農地委員会は自作農代表だったんですか？　地主，小作，三部構成ですよね。

水落：僕はその委員にはならないで，中浜さんが，自作農を代表する方の委員になって，尚且つ，会長って言うのはもっと保守的な男だが，理論的には中浜さんが指導した。農地改革と言っても，農民の頭に入らないでしょう。重鎮は中浜明さんなの。反対派が草鹿犀之介。地主だったし，陸軍中尉で在郷軍人分会長。占領軍に公職追放されたので農地委員になれなかった。

しげかず：紋別ではどのくらいの地域で？

水落：紋別町委員会というのが。

今西：町単位で。

水落：自治体単位でまずできるんですよね。

今西：各町村にできるのですか？　北海道だったら 5 ヘクタール以上の不在地主は没収ですよね。

水落：北海道でも，土地によって違うんですよ。あの辺は土地が悪いから，あの辺の畑作地帯は 7 町歩，水田地帯はもう少し少ない。4 ヘクタールとか。紋別は 7 町 5 反が標準。それ以上は没収された。

今西：平均 5 ヘクタールですよ。

水落：総体としてね。本州は 1 ヘクタールでしょう。関東でさえ，1 町歩の

水田を持っていたら旦那様ですからね。

今西：その頃はどんな対立がありました？　本州で言うと，土地を買い取って払い下げますが，その場合，地主が小作人に対して，土地を戻せという事件がしょっちゅう起こるんです。

水落：中浜さんがいて草鹿がいて，あそこは小作が一杯いたんですから，草鹿そのものが農場を持っており，かつ土地を貸していた。小作の土地を返せという。

しげかず：農民運動史にも出てきますよね。

水落：主にそういう形ですね。あそこでは。

今西：土地取り上げ問題が大きな問題だったんですか？

水落：そうです。それともうひとつは不在地主の取り上げの問題で判定が色々あって。そこに居なかったのが，小屋建てて住んだり。不在ではないとか。それとかどさくさに紛れてひとの土地を自分のものにして膨れあがった奴もいるしね。紋別もそういうのが結構いて。

今西：戦争中，紋別で朝鮮人小作人というのはいましたか？　本州では結構朝鮮人を入れたりする。

水落：北見方面ではなかったです。はじめにいた上湧別だったら，屯田で始まっているからかなり輪郭がきつくなっているでしょう。朝鮮人の人との土地の貸借とか所有問題はなかったです。

今西：アイヌもなかった？

水落：その時は，なかったですね。上川とかアイヌの人が一杯いるところで，いわゆるアイヌの土地問題は色々あったとおもうんですね。あの辺はなかったですね。農地改革の対象ですが。

今西：山林か畑地かという。

水落：地目の判定ね。

今西：それはどうだったですか？

水落：それはあの辺は雑だから。急に草地を畑地にするとか，畑地を草地にするとか。問題は山林なんですよ。

今西：畑を山林にして農地解放から逃れる。

水落：地目の問題は論争になりましたね。採草地とか原野とか。判断のところで争いが起きたり。農地委員の中でボスなんか自分の親戚に有利な判定を下すのね。そこに賄賂やったりね。それは結構あったんでないですか。

今西：農地委員会の構成ではどうだったんですか？　地主有利だったですか。小作人有利だったですか。

水落：村によるんですよ。小作の強いところもあれば小作の発言力弱いところもあるでしょう。紋別では中浜さんが，結構そうなる前に紳士的に。

今西：戦前には紋別に農民運動というのはあったんですか？

水落：小作運動で北見方面で大きいというのは，北見の郊外の方の豊地とか，或いは津別とか。小作人組合作ってやったところ多い。滝上では伝統があるんですよ。

しげかず：「北海道・進歩と革新の運動史年表」によると，草鹿農場の解放運動は，1952 年に一応の収束をみると書いてある。草鹿農場解放運動のあらましとはどんなものだったんですか？

水落：終わり頃までは，その頃共産党再建というのがあって，北見に行ってみたりしていた。草鹿農場の一番おやじは頑固だけど，家族は割合，ひらたい人が多くて，後で自分一人だけ農民になって住んでいたり。収束と言ってもね。結局は解放されちゃったんですよ。

しげかず：草鹿農場の跡継ぎの方は，かなり進歩的な方であったようですね。

水落：今は亡くなったけど。

しげかず：NPO の「遊」というのが，あそこと交流しているんですよ。だから「遊」から農業体験したり。

水落：草鹿農場はおやじが死んじゃったかどうかして，とにかく完全解放で，屋敷も解放した人達が手に入れて，解放になっちゃたんですよ。その息子が隣接した部落のところに自分で入って，一人の自作農としてこつこつやりながら，仲良くして暮らすようになったんですよ。

今西：48 年くらいから農地改革は始まるんですけど，日本農民組合が一気に

形成されますよね。で，やっぱり北見でも強かったんですか？

水落：全体的に言えば中軸なんですよ。北見方面で言えば，戦争が終わった後に，ふわあと農村連盟という形でできた。農民同盟という名前で作られたり，農民組合に加盟していない農民とか，バラバラだったんですよ。一番の先進というのは上川ですから，そこからオルグ（組織者）が入ったりした。

今西：上川からオルグとして誰が来ていたんですか？

水落：直接というよりも交流を深めるという形で五十嵐久弥も会いましたし，若手で一番やったのが村上国治。国治はあの事件（白鳥事件）がある前は一所懸命日農の仕事をやっていましたね。紋別にも来たり，鷹栖とか上川の古い農民組合の人たちが。五十嵐さんは青年時代からたまたまずーっと関わっているんだけど，戦争が終わるまでは，石島栄が後で結婚した時の親父の，新谷商夫。新谷がいつ書記長に選出されたかの記憶がない。そして札幌で急逝したという。俺も葬式に出た覚えはあるんだけど，喜多幸章とか色々名前が出てきている。戦前はどちらかというと共産党寄りな人なの。喜多幸章もね。五十嵐久弥はいわゆる社民主義者でさ，社会大衆党とか。共産党に行くと思わなかった。五十嵐が共産党に行って，共産党に行ってもいいという俺達が社会党に行ったと言って，石島の奥さんの親の商夫もよく言っていたんだ。おかしいもんなだ。俺が社会党に入って，五十嵐が共産党に入って。五十嵐さんはそれに入った経緯は色々あるんだけど，大衆的な農民組合運動にずーっと関わっているんですよ。どこでも名前が出てくるんだ。五十嵐さんは，屯田兵の将軍，永山武四郎のお妾の子供だと言われて。嘘でもないらしんだ。滝川中学時代からアカの先鋒みたいに言われて，その後輩が荒井英二で。同じ中学の後輩が多田光男でさ。

しげかず：永山さんのお妾さんのお孫さんの武市健人さんとわたし知り合いなんですよ。孫の武市は神戸大学の有名なヘーゲル学者なんですよ。それの孫だから。玄孫が今 30 越えたくらいの。たまたま北海道に来た時に，おじいちゃんのおおじいちゃんが永山武四郎なんだと言う。それで札幌の永山公園に連れて行ったことがあるんですよ。そして旭川まで。余談ですが。

水落：五十嵐さんの話は本当みたいだよ。永山将軍は佐賀だったかな。維新後，長州がいいところへ行ちゃって，北海道は薩摩が来たんだ。

今西：日農では自作農に変えてくれと言って運動が盛り上がりましたが，50年代に，農地解放してしまうと農民運動が収束して行きますよね。

水落：そうですね。

今西：小作人達は土地が欲しくて集まって来る。土地をもらうと農民運動をやめていく。むしろ農協とかが運動の中心となっていく。農民運動をやっていた人達はどうなっていったんですか？　ほとんど活動できなかったんですか？

水落：いわゆる専従ってのはあまりいなかったんですよ。農家の息子だとか。村上国治だって比布の農家の息子だし，そこに足を置いて運動してましたからね，運動が縮小しても，その人達が雲散霧消ということはあまりなかった。

今西：外から知識人が入ってくるということはなかったんですか？　小作争議の中で。

水落：石島栄もそうなんだけど，ひとつの視野というのを持っているから，運動の中で何かの関わりをしているんですよ。だけど，だいたい根がないからね。小作地を解放して自作農になっても，その後凶作があったり，自作農としての営農が非常に困難になったり。

今西：あと，税金問題が大きくなってきますよね。農家の税金が重かったから。

水落：だから，自作農に解放されてもつかの間でね，それに凶作。出稼ぎしていても仕事がない。一番大きいのは昭和27年頃の大凶作がありましたけど，更に昭和39年かな，さんきゅう冷害。それでずーっと潰れていって。* この年は東京オリンピックで，景気に隠れてしまった。

しげかず：水落さんの活動と暮らしはその後どういう風に展開していったんですか？

水落：給与改定があって，公務員の真ん中くらいもらったんですよ。だから，それはそれで収入と，運がいいというか，農家で困っている馬を飼って，農

耕馬にも使えない，競走馬にも使えない，肉にはうまくないという，昔イギリス貴族が馬に乗ってこうやって，それに使ったようなハクンー（ポロ競技専用馬）という馬が，近所の馬で凄い血統証のある馬が。プラウ引かせてもハーフ引かせても駄目なんだって。飼ってくれないかって言われて。高かったけど飼ったら，4,000 円で買って，35,000 円で売れたのかなあ。あの頃変動多いでしょう。俺も商才はないんだけど，変な時に金が入ったり，だから生活できたの。

3．共産党の再建

今西：その頃，共産党再建っていうのは，できていたんですか？

水落：田舎ですからね。中浜明さんていう人は本当はわからないんだけど，東京時代から日本共産党の系統と，何かの繋がりはあたんでないかと思うの。戦後ですがあの人の農家の納屋に行ったら，昔の「赤旗」（セッキ）があったり。シンパサイザーという形では色々あれしたり，何か手助けをしたみたいで。籍があったかどうかは僕はきかないで，あの人に入党を勧めたら入るっていうから，秘密のまま入ってもらったり。

けいこ：水落さん自身はいつ入党なさったんですか？

水落：俺の，いい加減なんだよね。名目上では，昭和 22 年 10 月 17 日ということになっているの。

けいこ：誰が推薦したの？

水落：元紋別から上湧別の神社のお祭りに行ったら，遠軽の党員がちょうどそこへ来ていて，それと会った日が入党の月日になっているの。所属するところもないし。戦前からの活動家は 1945 年の 10 月 9 日，10 日，刑務所から皆出てきたわけ。俺が北海道に入ったのはまだ戦争が終わっていない 7 月なの。北見方面では俺の氏素性を知っている者はいないでしょう。10 月過ぎてから，刑務所から出てきたおっさんに言わせれば，真に不審な人間であると言うことになる。俺も北海道の共産党を尊敬していなかったから。だけどしょうがないから自分で赤旗増やしたりして。でも党員を増やすとなったら自分

で党籍持ってないと駄目でしょう。俺は樺太と東京を行ったり来たり，北海道は通り抜けていただけだから。今でも色々問題になる。治安維持法同盟とか，戦前戦った人達の記録を作ったりして。水落さんはそこに出てないから，戦前は何もしていなかったって言う。偉い人がいるんだよ。戦前何もやっていないんだけどね。それで俺もこないだやめちゃったんだけどさ（治安維持法同盟）。始め不審者ということで，党籍ないのはそうなんだ。

けいこ：石島栄が北海道に入植しただいたいの年わかりますか？

水落：ゾルゲの本を 1941 年に翻訳したのが石島だとして，あの頃に空襲がだんだん激しくなったでしょう。あの頃に石島もそうだし，東京の知識人で，あとで和光大学の教授になったミヤトラ（宮川寅雄）も，* 奈井江でないの？

（* たまたま奈井江に聞いたら，かっての運動の幹部や活動家と接点を持ったようだ。）

けいこ：山田宗睦も来てるの？

今西：教育大学函館分校の先生です。

水落：道北の方に東京の文化人で疎開というか避難というか。

今西：宮川寅雄はこっちの。戦後の労働組合運動の幹部だったでしょう。

水落：あの人（宮川）文化人だから，僕は不審だというのが晴れたら，いきなり北海道地方委員会の役員になったの。役員の中に宮川寅雄とか石島栄とかいて。

しげかず：役員になったのは何年？

水落：昭和 24 年に道地方委員。

けいこ：その時は石島も一緒だったんですか？

水落：うん，あれも委員で入っていたの。石島は農村で色々な活動はやったけど，農民組合の大衆組織の役員としてはやっていないわけ。いわゆる政策マンとか，アイディアを出したり，党の役員になっているから，党のところで農民問題をやった。

けいこ：石島栄って東京で一回結婚しているでしょう。その人の間には子ど

もさんはいなかったの？

水落：いなかったような話だけどね。あまり個人的なこと訊くのもへんだけど。

しげかず：アメリカの通信社，ハーバード・エイジェンシーに勤めていた。

水落：前の奥さん。

けいこ：フランス語が堪能だった。

水落：日本人でしょう。

けいこ：会ったことあります？

水落：会ったことない。そういう人だという話は聴いたことある。

けいこ：離婚した原因はわかります？　こっちへ来てから離婚したの？

水落：ここへ来た時点では離婚していたかどうかはわからない。一緒に北海道へ来た。

けいこ：石島栄は一人で来たの？

水落：北海道へは一緒に来て，分かれたものか，どうかはわからない。

けいこ：離婚するまでは女性と一緒にいるのを見たことはないんですか？

水落：北海道地方委員会で石島とか。彼が北海道からいなくなるまでは。いなくなる直前に新谷商夫の娘と結婚した。前の人とは離婚したとだけは聞いているの。

けいこ：子供さんがいたとかいないとかも聴いていないわけ。

水落：聞いていないけどいなかったみたいなんだよ。でもわからないね。山の中へ入って離婚したものか，離婚してこっちへ来たものかはわからない。

今西：こっちへ来た時は産別会議の宮川さんでしょう。彼は非常時共産党の一人でそれで逮捕されて転向して，北海道へ来てからは産別会議の仕事をします。

しげかず：入植したとかというのはないんだ。

今西：最初は会社勤めですが，戦後は労働運動の専従です。それで共産党の常任になっているんですよね。

(* 宮川寅雄は，戦前戦中に来道，敗戦後も在道して，道地方委で常任になった。50

年問題までそうだった。50 年の時，彼が国際派として所感派から攻撃されていた。）

水落：空知かどっかのところに住んでいたことはないのかな。

けいこ：石島さんは新谷さんの娘さんと結婚して子供さんはいらっしゃらなかったの？

水落：北海道にいた時はいなかった。一年くらいでないのかな。結婚して東京へ帰ったのは。

今西：水落さんは労働組合もやっておられて，ストも経験されていたんですね。

水落：僕は 2.1 ストは横目で見ていただけ。全国的なことには関係していなかったですから。

しげかず：昭和 22 年 10 月 17 日が入党。そのきっかけになったのが上湧別のお祭りで。

水落：叢で何か喋った日。

しげかず：その後共産党の活動に一路邁進というわけでもないんですか？

水落：北海道の各地で戦後の合法的な組織つくりが動き始めたばかり，北見は田舎だったということで他より一年遅かったんですよ。十勝とか釧路とか，まとまって 1946 年あたりには地区が確立したり，北見は 47 年か 48 年か。紋別では大日本共産党紋別地方委員会って勝手に看板作って。

（* 1948 年の春，北見地区委員会を設立し，常任になった。紋別に入ってきたのは釧路の方の戦前からやっていた者で，勝手に党を名乗った。北見は遅れた事情もある。）
（* 北海道は，1945 年 12 月に徳田球一が来て，各地方の「自生的」党は，一度解散した上で党の北海道組織の立ち上げにとりかかった。この時点で，戦前からの党籍を認められた者は武内清だけだったと聴いている。多くが，「自称党員」だった。）

今西：大がついていたんですか？

水落：多田光男さんが旗揚げしたみたいなんだ。

けいこ：わたしこの間，中村栄治さんから聞いたのですが，戦後間もなく武内清などが中心になって定山渓に集まって荒井英二さんらと広谷俊二さんと

かと，再建大会みたいなのもを開いたんですって。

水落：定山渓派と銭函派とふたつあって。オルグを飛ばすなんていうレベルじゃないのさ。

けいこ：定山渓派と銭函派っていうのは何なの？

今西：定山渓派の中心は誰なんですか？

けいこ：荒井英二さんとか広谷俊二とか。

しげかず：二つあったということが水落さんの記憶にあるということは，ずーっと言われていたわけですか？

(* 1945 年～48 年は直接は党は関わっていない。定山渓派とか銭函派とかは言わば噂でしかない。関わっていないのでよく判らない。)

けいこ：中村栄治さんも言っていましたよ。

水落：昭和 24 年に，その前は地区の役員をやっていたんだけど，その頃も薄々は聴いていたんだけど，全道の役員に入ったでしょう。派閥が薄々あるわけさ。

けいこ：原因は転向したとかしないとからしいですよ。もめた原因。二つの派閥ができた原因。後で調べてみたら全員転向していたんですって。武内清も。

水落：判定はね。その判定を誰がやったかって言ったら，1945 年，徳田球一が北海道へ来て，徳田の御前で判定がついたわけ。終戦で刑務所から出てくるでしょう。その時即座に旗揚げしたのが一度ぱあになったわけ。徳田球一の御前会議で。12 月 15 日かなんかかな。それ以前の党籍を認められたのは，誰かな。全部帳消しだろう。

けいこ：わたしが中村さんから聞いた話では，椎野悦郎という 50 年分裂の時の臨時中央委員会の議長が，戦前網走刑務所にいたんですか。

水落：徳球も網走にいたりして，最終的に何処で出たかということなんだよね。

けいこ：椎野悦郎さんが獄中にいた時に，看守達が椎野さんなんかを尊敬し

ていて，獄内で細胞会議を持つようにとりはからってくれたらしいの。誰が転向したとかしなかったとかいうことを，徳田球一のところへ流していたんだって。それで徳田は各党員がわたしは非転向だと言って頑張っても，そういう書類は全部自分が見ているものだから，御前会議で，お前さん言っていることは違うよということになった。

水落：転向の情報もいい加減なんだ。中で会議をやったということだが，刑務所の方でセットしたものもあるんだよ。安心して看守も協力したとか思っているだけで。

けいこ：手のひらの上だったということもあるわけね。

今西：8月15日以降になるとちょっと違ってくるよね。こいつら偉くなるかもしれないと思っているからね。

水落：後でわかったんだけど，転向しているんだけど刑務所の側が，将来使えると思って，転向しなかったことにして，娑婆へ出したりして。という人もいるし，初めはあんまりしまらないんだ。中央役員でもね。あの頃宮本顕治はじめ非転向証明という物を出したんだよ。中央役員に。手当てがちょっと違うらしいんだよ。ある中央委員が，水落君いいもの見せてやるかって，今の電車のカードみたいな物を，非転向証明書ってものがあるんだ。これは中央役員になっていても特典があるらしいんだ。そういう物を考えたのは宮顕らしいんだ。俺はそんな物もらわないから，後で宮顕が頭おかしくなってから，転向なんてことは有り得ない，と。変節かどうかだと。変節，非変節ていうのはどうなるかなと思ったら，立ち消えになったから。非転向って言うでしょう。そういうのは間違いだと。それは変節者であると。どうどうと公式に言っていたんだけど，立ち消えになってさ。俺その時に，非転向証明書をその時没収した。転向と変節は違うっていうのは，宮顕さんの意見だけど，あれも立ち消えだなあ。

(* 非転向証明を誰が発行したのか？　はっきりしたことは不明。証明カードを見せられたことがある。)

今西：転向は難しいんですよ。初期は天皇制を肯定して宣言すれば出してくれるわけですよ。ただ戦時下体制に入るとそれも非常に厳しくなって，出さないんですよ。そこで出た連中を転向というか非転向というか，難しいんですよ。

水落：一応あの時の心情は捨てないけれど，活動しませんと言えば出されたけれど，今の教育指導要領とかでは，内心の自由があまりないんだよね。凄く昔の弾圧と違うように見えるんだけど。意外なとこで締めていて，共通したところあるんだよね。今ね研究もしているんだよ。

けいこ：水落さんの認識では，戦後北海道で共産党が再建された時に，定山渓派と銭函派があったらしいということは，あとから噂として聴いた。誰がそうだったかはわからないんですね。定山渓派が誰で銭箱派が誰かは。

今西：定山渓派は荒井さん。

水落：だいたいはわかるけどね。俺からみたらあんまり理由がわからないんだよね。

今西：銭函派の中心は誰だったんですか？

けいこ：中村栄治さんから聞いた話だと，「民衆の旗，赤旗は」，っていう歌を翻訳した，柄沢とし子らと一緒にキャラメル工場で働いていた女性の旦那さん。柄沢とし子の旦那は柄沢あきら。山名正美っていう人が柄沢とし子と結婚していたんでしょう。

水落：実家が柄沢なのか，再婚して柄沢になったのか，よくわからない。今は松島さんでしょう。

けいこ：今，松島さんなんだ，富山にいるんだよね。富山の老人ホームに入っているって。

水落：松島さんて言うのは富山の党の出身で，昔の越中の地方委員会のキャップでね。松島さんは富山を含めて，北陸地方委があり，そこのキャップだった。

今西：そこは社共合同なんかはされたんですか？　49 年から 50 年にかけて。

水落：49 年は北海道地方委員会の方にいましたから。北海道でも社共合同の形で社会党系が共産党に入ってきたというのは，上川が多かったのかな。函館でも。

しげかず：全国的には 1948 年 12 月の 8 日に新潟県各地で，脱党者，共産党への入党者。同じく 12 月 13 日，青森で社共合同大会。続いて岩手，福島，栃木，長野，香川などでも。14 日が青森だよね。だから全国的には 48 年の年末。

今西：48 年の末から 49 年の始め。

水落：上川の方も結構いましたよ。

今西：それは選挙とかで社共統一とかあったんですか？

水落：24 年の春の総選挙というのは，大きい選挙だったんですけどね，合同による力っていうのもあるけど，ひとつの雰囲気として，24 年の総選挙では，衆議院 35 名くらい。

今西：共産党が多かったですから。

水落：その前の参議院と含めて，国会議員は多かったです。50 年頃かなあ，50 年問題のちょっと前くらいに，北海道から 5 人くらい呼ばれて，汽車に乗って青森で下りたら，青森県委員会の委員長が大沢久明さんで，その次が大塚英五郎さんか。お二人に会って，飯食わしてもらった。これは合同の成果かなと思って。やっぱり雰囲気作りには役に立ったんでないかな。50 年分裂後ね，その一方の側っていうのが，社共合同で入ってきた人達とか，それに似た人達に対する攻撃とか。それは気の毒なことをした。

今西：50 年の分裂の時には，札幌におられたんですか？

水落：その頃は北海道地方委員会の北見の地区委員長でしたから。北海道の地方委員会の方から，中央党学校か何かの講座に来いということで，正月早々，呼び出しがかかって， 5 人くらい固まって，汽車に乗って青森県委員会に寄って。その時かな新聞に，コミンフォルム声明が出た。確か青森で知ったんでないかな。

しげかず：劇的ですよね。

水落：汽車ポッポに乗って，代々木の本部に。あの頃は木造立ての3階。行ったらすぐ用件にとりかからないのよ。伊藤律が降りてきて，コミンフォルムがそういうことを言ってきたと。コミンフォルムなんてもともと欧州共産党・労働党の情報で物いうものでない筈だと。しかも日本では議会の活動抜きで党勢拡大も考えられないと伊藤は演説したんだよ。それが所感派なんだよ。だけどその時はコミンフォルムの声明の後ろにはスターリンや毛沢東が居ると思っていなかったせいもあると思うんだが，コミンフォルムそのものはあまり意味がない。

今西：共産党の連絡会議ですからね。

水落：野坂が攻撃の対象だから。

今西：平和革命論でしょう。

水落：スポークスマンが伊藤律さ。いやあ，いいこと言うなって聴いたよ。それから二転三転するんだよ。

今西：国際共産党の権威に弱いわけでしょう。

水落：宮本顕治の子分という言い方は悪いけど，全学連書記局とかね，東大細胞だよね，そういうメンバーが一斉にコミンフォルムの声明を支持するべきだと。宮顕さんは口で言わないけれど，学生達にビラ撒かせたの。内容的に言ったら武力革命しかないっていうことでしょう。簡単に言ってしまったらね。

今西：東大の学生に言わせれば反米闘争。

水落：そうなのかなあ。俺が行った頃にはそのビラはあったんだよ。志賀義雄の場合は俺の意見はこうだと言ってね。コミンフォルムの意見は受け入れるべきだと。それが国際主義だと。国際派になったんだけどさ。一貫して日本の革命については，道筋，綱領ってのは，確立していれば所感派の動揺しなかったんだと思うけど。それが又ひっくり返ったんだよ。コミンフォルム声明の後ろにスターリンとか毛沢東がいるっていうことがわかってきて。俺が在京時は二転三転さ。

今西：所感派は武力闘争，武力革命ですね。

水落：その後ね。俺は今の立場を言うと，ここの手稲の中は名簿の中には党員として登録されて，それ以外には役職も何もないんですよ。大衆組織もやめて権威ある存在ではないんですから。よく真偽を確かめて。

今西：それだけ覚えておられたら立派なものですよ。

水落：役に立てば。材料としてね。俺も色々な人と対話する機会があって勉強になりますよ。不破哲三が鉄鋼労連の，書記局にいて書記をやっていた時に，鉄鋼労連の幹部だったていう，それが北海道に遊びに来ていて，退職したら北海道に住みたいって思っていたんだって。それで小樽に住もうと思ったら，計算したら小樽の税金札幌より高いんだってさ。どうせ小樽と繋がっているからたって，いつ頃からかな，手稲に引越ししてきた。それが新年会の時かな，隣に座っていて。ここは昔小樽の圏内だものね。僕はたったひとつ肩書き持っているのは，国民救援会の手稲支部の顧問を置くことができるということが何年か前にあったものだから，それにしておいてくれやってことで。たったひとつ持っているの。一年に一遍，そこの常任会ってのが年末にちょっとやって，そしてちょっと飲むんだけど，12 月かな，クリスマスの前後くらいに 10 人くらい来るんだわ。手稲駅に集合して，タクシーに乗って，ここへ 10 人くらい集まって会議を一時間くらいやったら，必ず毎年飲むんですよ。

山本：ここのボス，誰でしたっけ。国民救援会の？

水落：今は大沼さん。もう 10 年くらい前かな，騙されてここの支部長をやったことがある。

今西：宮田汎さんも。

水落：あの人も治安維持法の。俺もこの間治安維持法やめちゃったんだけど。その前は中央委員会の，言っちゃ悪いけど，お下がりみたいな人が頭にいて，前は高島信敏。その後が外尾静子。かちかちのね。宮田さんが支部の方，道の会長になって，全国の副会長か何かになったんだよ。そしたら凄く柔軟性でさ。俺もやめようかと思ったけど，宮田さんがやっているなら，しばらく我慢したんだけどね。会費を郵便振替で送れっていうところが 20 もあるの

よ。何処からやめていいかと。京都の歴史学会みたいなところから色々あるんだ。歴史学会の方は会費を送って，これで終わりにしますって言ったら，一年まだ首だけ繋がっているのさ。俺は仏教大学の東洋史の方。あそこは，意外と漢籍とか昔の中国関係のがあって，もし足りなければ京都大学の，補えると思って。同窓会の方は１万円入れたら死ぬまで終身会員にするって言って。１万円入れて死ぬまで会員になっているんだけど。やめちゃったんだわ。みんな高齢化しているのにね，１万円とって死ぬまで会員にしたら儲けないって。そこが残っているでしょう。

今西：通信教育？

水落：通信教育なの。４年くらいいたかな。それもやめたいって思っているんだけど。

けいこ：今，国民救援会で，松田さんてご存知ですか？

水落：松田忠男，白対協（白馬事件対策協議会）の道の事務局長（？）になった。

けいこ：名前まではわからないけれど家に電話がかかってきたの。白鳥事件で北海道でも集会をやるらしんだけど，どんな按配ですかって。

水落：松田は国民救援会の道の顧問だよ。

けいこ：わたし達が東京まで白鳥事件の集会に行ってきたと聴いたらしいのね。栃内さんから家の電話を聴いて，北海道でもやるんですかって，動静を探ってきたわけさ。

水落：今度 60 年かな。50 年っていう時には，白鳥も含めてやったんだよね。今度北海道の救援会の企画に白鳥を外しているんだよ。

けいこ：松田さんが言うには，鶴田倫也が３月に亡くなったから，ほっとしていたんだって。ところが 60 周年記念会を東京で持って，やばいと思ったんでしょう。松田さんが。北海道でも集会を持ちそうだと聴いたものだから，どんな按配なんですかって。

山本：労学協の片岡も白鳥がどうのこうのと忙しい。下種な言い方すればピリピリしている。

(* 除名問題としては，中野徹三の処分は異常だと思う。理論上の問題での処分はおかしい。)

けいこ：誰が行ったんですかって。家にまで電話がかかってきて。

山本：これがバレたら，俺も水落さんも除名されるね。

しげかず：除名最高年齢になるかもしれない。野坂みたいに。

水落：今は頼りない共産党ではあるけれど，それはやらないわ。

今西：できないでしょう。

水落：首切り部門がなくなったから。

今西：イデオロギーが違うからって切っていったら誰もいなくなるよ。

水落：松田ねえ。

けいこ：85 歳だと言っていた。

水落：俺より一つか二つ下なんだ。あれもあんまり一所懸命やらないんだよね。

けいこ：福住に住んでいるって。

水落：探せばどこかから出てくるけど。あいつの住所と電話番号ってのはねえ。俺はそれで何かをやろうという気は全くないんだけれど。

4．共産党のアイヌ政策

今西：50 年問題とかは又次回ということにして。アイヌの共産党員の扱いですね。『前衛』の 73 年 1 月号，増刊号で上田耕一郎が自己批判しているんですよ。アイヌを少数民族扱いしてなかった，と発言しているんですよ。アイヌを少数民族として扱ってこなかったことを，これは北海道の同志から指摘されて，それは間違いだったと言っています。アイヌは少数民族として扱かわなければいけない。最初に綱領の中で書いているんですよ。アイヌ問題は弱点だったと話していた。これは水落さんの提案なんですか？

(* 27，32 年テーゼ，51 年「綱領」では，アイヌは少数民族として扱っていた。しかし，宮顕は，アイヌは部落と同じで，同化として，61 年綱領ではアイヌ民族消滅論にした。)

水落：始まりは今の民主連合政府綱領で扱う。12 回大会前の。10 回大会くらいからこっちの方で色々まとめたものを，あの頃まだ，上田耕一郎とか不破哲三とかはあまり上にのぼっていなかったから，こっちが出していくものを二人が窓口みたいになっていたの。部落問題とかを中央委員会の農民部が，非常勤の部員が入っていて，そこでアイヌ問題をやったんですよ。その頃まだ先住民というものと先住民族というものの概念が国際的にもはっきりしていなかった。規定をどこにするかと言えば，国連の人権委員会の中の，それも先住民委員会ではなくて，先住民族委員会に解消して，かなり前から国連は動き出した。日本の中では賛否両論なの。アイヌ自身もそうなんですよね。12 回大会の，わたしの発言の。先住民族として扱うべきだということはかすかに残っているんですよ。かすかに残ったというのは，あの原稿を宮本顕治が，何とか消そうと思って，一所懸命やったのに，あそこはあの人のいいところだけど，原稿の一番始まりが，アイヌとはウタリとはと，カテゴリーの問題から始まったものだから，民族問題特有の言葉から始まったでしょう。結局消せないで，最後に，同化する政策がいいんだと宮顕は言うの。部落と同じだから，アイヌを民族として扱うなと。意見が対立して，結局あの人，直そうと思ったけど，直せなくて，撤回しろと来たわけよ。発言通告を撤回しろと言ったって，もう委員会を通っているわけだから，発言通告も。原稿を一所懸命書き換えたけど，途中で宮顕はやめて，撤回しろときたけど，撤回しないと。結局はあそこで喋ったっていうことなの。

今西：水落さんは共産党のアイヌ政策がおかしいと思われたのは，こちらのアイヌ党員から意見が出たんですか？

水落：アイヌの人を入れて，10 回大会くらいからずーっと委員会を作ったんですよ。その中に今は死んでいないけど，井上さんも委員で入って，北大の文学部出身の井上司さん。10 年近くやったんでないかな。

今西：アイヌ側からは誰が入ったんですか？

水落：日高の小川隆吉。あれはあの頃は委員会には入っていない。部落にいるアイヌの人ね。鷲谷さとさんとか，旦那は日本人だけど，誰だったかな。

十勝の安東軍次郎とか。そういうのを委員に入れて，10 年くらいやっていたのかな。

今西：10 回大会頃からアイヌ問題をやられていたんですね。

水落：その前から，旭川の人権擁護委員会からちょっと要請があったんですよ。土人保護法の問題で。それがいつ頃かな。それで尚拍車がかかって。弁護士達が中心になって。やっている最中になかなか取り上げてくれないからって。動機とすれば土人保護法の，これは同化政策，消滅政策に真っ向から対峙する。どこもその頃，アイヌ協会ウタリ協会もビビッて。こっちに付かないんですよ。俺も旭川（火炎びん）事件のこともあって，弁護士と知り合いだったもんだから，そういうのもきて尚拍車がかかってきた。

今西：旭川事件ってどんな事件ですか？　銅像を破壊した事件とか。

水落：それとは関係がない。アイヌ解放同盟とか，極左的なのは差別されたのが出てきますから。解放同盟もそうだしね。

山本：70 年代後半，80 年代後半，解同が。

今西：アイヌの色々な運動が出てきますよね。アイヌの肖像権問題だとか。北大経済学部の林教授の差別発言とか。色々な事件が起こりますよね。あれに刺激されたということはないんですか？

水落：僕の場合はアイヌ問題の発端というのは，かなり子供の頃から関心があった。アイヌが傍にいて差別されたり。西国から逃げてきても匿うものだから，刑事，政治であろうと，逃げて，助けてくれと言う人は匿う。戦後，アイヌ部落に行って喰ったり泊まったりして，仲間がいたんだ。それの方が大きいんでないかな。この間も話したんだけど，今は毛が薄くなってしまったけど，俺を見て，アイヌかどうかという議論を俺の前で始めて，シャモの言葉でまずいからって今度，アイヌ語でわーっとやってさ，結論出た。水落さんはアイヌではない。九州の熊襲だということになったのさ。アイヌは指の方までは毛が生えてない。俺は頭の毛も薄くなったし。ここにも(指)，もさもさ生えてたんだよ。アイヌではない。熊襲だということになったんだよ。俺達の仲間にしてやるからなって。そしてどぶろく飲んで喜んだりして。ア

イヌ問題ってのは昔から自分の中にあるんですよよ。それから各地を歩いても，結構アイヌ部落に泊まったり，結構優秀な人材がいたり。一番大きいのは，十勝の幕別にチロットっていうところがあるの。帯広から幕別の市街に行く途中。そこのアイヌが沢山いるんだ。

昭和 29 年か 30 年頃，世界青年連の参加者が来て，札幌でイベントがあるって言うの。それをアイヌの青年達が聞いて，来るのがイタリアだとかソ連の方だとか。写真にアイヌそっくりなのがいるわけよ。それまではアイヌのムックリだとか，色々なものは見世物，騙してただで使われたり。舞台に出たいって若いのが言い出したんだわ。それじゃあなんとかしようと言うんで，吉田菊太郎って，これはアイヌだけど，町会議員になって，アイヌの青年が世界民青連に出るのためにカンパを集めて，そこのばあちゃんのムックリを演奏することになったの。ばあちゃん（安東軍次郎の母親）も見世物で虐げられてきているのを芸術として初めて認められるものだから喜んで。それで，ボスの菊太郎も俺も連れてってくれって若い者に頼んで。アイヌのムックリだとか歌とか踊りを芸術レベルで扱ってもらった初めらしいですよ。そこのばあちゃんの娘がもう死んだけど，ムックリの名手で，その又娘が名手になっているのかな。そういう曙時代やらせていただいたんで，ばあちゃんの息子の安東，シベリアから帰ってきたんだけど，その頃農民組合とか農村労働組合つくるとか，北海道の農村労働組合を作るのに，そのアイヌの安東を立てたの。そしたら開闢以来なっちゃったの。軍次郎も焼酎飲み過ぎて死んじゃったけどね。

そういう経緯があるので，アイヌ文化を抹消するということはアイヌ民族を抹消することになるから，俺も宮顕が書記局の使いを寄越して喋っている時に，これでアイヌ民族を抹消するんだったら，ヒトラーのユダヤ絶滅と同じだは，とちょっと口走ったのよ。軽口を。聴かない振りしている書記局員と，喜んで親分・親分っていう奴がいるんだよ。それで，あれ（宮本氏）も明治生まれの士族（山口県の商人の出身）の末裔だから。宮顕も。自分は第 12 回大会の綱領問題で，面子をつぶされたっていう取り方したの。殺人部隊

の名残もあるからね。書記局の人が飛んで来て，これが終わったら，あんた除名されるよと，宮顕の情報をその場で流していたんだ。一回か二回釧路の方に飛ばしてね。その時，不破哲三が書記局長だけど。容疑は袴田里見と分派活動を企んでいるというのを炙りだせというのが命令さ。12 回大会で筆頭副委員長で袴田里見がなっているんだよ。札幌学院大学の中野徹三のその前に，俺をやったんだよ。証拠ないでしょう。俺をそいう命令でやった奴って早く死んでいくんだよ。それでどうにもならない時にたまたま道委員会に新米の常任がいて，目を見たら，俺の住所が手稲前田だからって，転籍を作ってしまった。そしたら俺の籍がこの前田に来たの。その新米の常任は上から言われて，あわくって訂正しようとした時に，それをやった常任も死んじゃったんだよ。共産党の規約では，中央委員会は地区委員会のところまでは直接除名できるの。基礎組織の細胞，それから支部というところは，中央委員会といえども直接除名はできないという。俺の籍がいっちゃったもんだから，それでこうなってて，宮本忠人が今度は駆けつけてきたけど，俺には手をつけられないのさ。その後やったのが中野。だいぶ無理あるんだよな。言っちゃ悪いけど。宮顕も意見は意見としてというのはまだ残っているのさ。不破哲三に言ってやろうかなって思っているんだけど（理論上の問題で処分したのではないと，建前では言っている），まあいいかなと思って。

今西：アイヌを他民族だと認めたら，日本共産党規約で言うと，日本共産党の規約では「18 歳以上の日本国民」ということになっているわけですよ。そうするとアイヌは入れないということになるんですよね。

山本：そんなことは無いでしょう。

今西：いやあ，そうですよ。朝鮮人は入れないわけでしょう。在日朝鮮人でも国籍は日本国籍をとっても日本共産党へ入れないわけよ。

山本：そうなんですか。

今西：そうですよ。いやあ，自民党と共産党だけなんですよ。政党の中では他民族が入党できないのは。

水落：戦後間もなくは入れたんだけど。

今西：最初は入れたんだけど，朝鮮人は除名したわけよ。

山本：除籍ではなく除名ですか。

今西：除名です。

水落：除名だけではなくて，入っていたけど，北か南へ還っちゃって。

今西：日本に残っても，金達寿なんか除名されたわけですよ。

水落：あれは他も絡んでいる。

今西：国際派ですからね。高史明は奥さんは日本人だけど，「50 年問題」で排除されます。アイヌの人達は別に他民族でも入っているわけですよね。日本国民だから。アイヌと在日朝鮮人の違いはどうなるんですか？

水落：朝鮮人は日本列島の中の先住民でもないし，もっと古典的に言うと，今の国連で言っている，原住民と先住民との規定というのは，民族の規定が国際的にマチマチなんですよ。スターリン中心の民族規定もあれば。国連は何年か前に一定の先住民族についての概念を統一したんですよね。だから例えば，オーストラリアであれば，先住民というだけではなくて，言語・風俗幾つかの，先住民族に扱うという扱いもあるし，先住民としてだけの扱いもあるし。だから日本のアイヌの問題は，文化的に言えば，言語としてとか，毛色の関係とか色々でね，民族的な色々なもの残っているでしょう。

今西：ナショナリズム論ではを 80 年代になると多文化主義とか多民族主義という考え方が，強くなってくるわけですよ。世界的にね。ところがそういう考え方であるのもかかわらず，日本共産党は在日はいけないということになっているわけですよ。

しげかず：それは変えてないの？

今西：変えてない。

しげかず：1950 年代のそれは明らかに政治的な理由にしているだろうが。70 年くらいになると合理的に変わって当然だと思うんだけどね。

今西：規約改正をやってないんじゃないんですか。その議論をしていない。

山本：日本国籍があればという。それは運用上の問題でしょう。規約の。

今西：多民族主義をもっと認めないと今の日本の社会では，中国人で日本国

籍をとっている人とか，朝鮮人で日本国籍とっている人とか増えている。

水落：党のことだけで言うと，アイヌ問題では結着がついていないんですよ。ついこの間国会で。アイヌ問題どうなんだという質問があったみたいだったので，俺から答える筋ではないんだけど，パンフレットで全然曖昧なんですよ。党のアイヌ政策とすれば，僕は12回大会で出した原稿を宮本顕治がどうにもならなくなったところが，最終版で，民族的要素も残っているんで，その後で北海道委員会で出したアイヌ政策は，呼び名はアイヌ系住民なんだよ。ただその中に，抹殺されなかった，民族的な色々なものについて，支援する。古い時代のパンフレットが出た時点に止まっているんですよ。だから論議するとなると今の問題も残っていて。だから民族のカテゴリーとか概念とかについて，スターリンがどうのこうのと言うのを一切省いたとしても，その論議は止まっているというところかなあ。統一されているのは，４・５年前かな。衆参両院で決議した，アイヌ促進法，土人法を変えてアイヌ新法を。衆参両院でアイヌ民族を認めるという決議をした。ここが一番大きいところで，共産党が今出ているものでアイヌ政策が直っているかと言えば，全然直っていないんですよ。だから，聴くとすれば共産党に行って聴いてもらうより仕方がない。古いパンフレットではアイヌ系住民です。

山本：道委員会の中にもアイヌの人いますね。

今西：肝心の日本は多民族国家であることは国会でも認めたわけでしょう。かかわらず，朝鮮人問題アイヌ問題，場合によっては沖縄問題もきっちり決着をつけていない。

水落：政治問題よりも理論問題があると思うんだよ。

今西：その当時，国民的に世論が出て，同化政策，融合政策は推進すべきだという，榊利夫氏の，国民的融合論が出てアイヌも同化すべきだと議論が強かったんですか？

水落：てっぺんの方はね。僕も12回大会終わってから，俺の方の意見を支持した中央のスタッフは飛ばされたりしたのね。不破哲三とか上田耕一郎もあとから反省もあるかもしれないが，あの瞬間では宮顕は口も手も出なかった

んでないかな。

しげかず：70 年時点における日本共産党の政策の背景になっているものはそういうものであったと。これは歴史的事実なのね。その後どうなっているのかは又別の問題だから。その後に出た政策的文書を見たら，止まっているし。

今西：民族問題についてちゃんと議論していない。

水落：印象としてはだいぶ脱却し始めてはいるけれど突っ込んでないね。

しげかず：50 年代，もっと後くらいまでは明らかに，イデオロギー的な縛りがあって，確かにコミンテルンの支部ではないんだけれど，コミンテルンの支部という考え方が主流だった。一民族，一国家，一共産党。一産業，一労働組合，樺太共産党は次回のテーマになるんだけれど，そういう考え方があった。

水落：宮田汎さんとわたくしが今は死んだけど，越沢幸三うさんのところに言って聴取りをやったんですよ。越沢幸三さんの戦後結婚した奥さんというのが，樺太共産党を扱った弁護士の娘さんなんですよ。樺太共産党事件についてとその事件の弁護をやった，白樫さんの奥さんのお母さんになるわけだけど，お母さんの親である弁護士さん，その話を主に宮田さんが聞き取りをやっているんですよ。俺が不正確なことを言うよりは宮田さんも物書きだから。

今西：宮田さんとは僕も 6 月以降会おうと思っています（会えなかった）。

水落：そのまま診断ではネタが。

しげかず：まだ 70 幾つだから。

水落：一回病気で倒れて，よくあそこまで回復したなと思っているんだけど。宮田さんが結構色々なところの聞き取りをやっているけど，まとめるのがなかなか大変だけど，越沢さんが死ぬ前に，白樫さんはそんなに知らないのかな。奥さんから聞いてもわからないかもしれないね。

しげかず：白樫先生の奥さんのおばあちゃんていう方が弁護士さんの連れ合いだったと。樺太共産党問題も含めて白樫先生も，元紋別問題についても書

いているの。

水落：白樫さんて，大学院時代，農民運動関係の。

しげかず：北見工大時代，水落さんの。

水落：北見工大へ行く前にこっちの教育学部のなんとか先生，それが白樫さんの先生なんだよ。

けいこ：布施鉄治先生。

水落：その頃白樫さんと会っていてね，越沢幸三の葬式に行って，なんで白樫さんが来るんだろうと思って。疑問を持って訊いてみたら。樺太共産党事件は宮田さんがかなりよく知っている筈。

今西：裁判の資料も宮田さんに見せてもらいたいと思っています。

しげかず：党内でそういうことが問題，議論になったことがないということでしょう。

今西：この間小林多喜二のシンポジュームがあって，彼の蟹工船はどちらかというと問題が多いと。ひとつは蟹工船の労働者というのは朝鮮人とかアイヌを使っているのに，多喜二は全然書かない。草稿には朝鮮人のことは書いているんですけどね。蔵原惟人はそういうことは書かなくていいと言っているんですね。先端的な労働運動，労働者だけを取り上げたらいいと。それがプロレタリア・リアリズムだと。そんな主要な問題ではないものを取り上げるのはプロレタリア文学ではないと彼は批判をしているわけですよ。多喜二だって 30 早々で死ぬわけだから，そういうこともちゃんと議論するべきだと。言ったら，皆，さーっと白けた。多喜二絶賛っていうところでしたから。

水落：俺も大月源二と，富樫正夫の絵の問題で郷土史研究でやった時に，大月源二さんと色々聞いている時，今の彼さ，蟹工船を書いた，あれと中学時代か小学校時代，同じ水彩画の塾に通っていたんだって。多喜二もその頃は絵の道を歩みたいって言ってたんだってさ。大月源二と二人でね。多喜二は商業学校へ行った。それも叔父さんに養われて。商業から高商に行ったのかな。多喜二との付き合いを俺も大月源二さんから聞いていたものだから，郷土史研究会でそういう話に入ったのかな。多喜二の若い頃の話を大月さんか

ら聞いているものだから，拷問で死ぬ時，多喜二の脳みそにあったものは，党の組織機密を守るために死ぬのかどうか，俺は疑問だって言ってやったんだよ。多喜二の脳裏にあれだけ権力の暴力とか色々なものが，渦巻いていて，真実を捨てることはできないって思ったんではないかって言っちゃたんだ。通説は拷問で仲間の色々なものを売らないので，機密を守ったということになっているけど，多喜二から聞いたわけじゃないだろうって。だけど源二さんの多喜二の風格とか。大月さんは多喜二が死んだ時には傍にはいなかったんだね。どっかに行ってたか捕まったかして。本当はどうだったたかって死んだ人から聞くわけにいかないしね。

今西：多喜二神話を壊すみたいな話が多すぎます。多喜二が通っていた所っていうのは朝鮮人の居住区ですからね。海岸線のところが朝鮮人が。花園町。水天宮があって。堺町はコリアンタウンです。

しげかず：今でもそれはあるの？

今西：ないない。今は観光地になっています。

しげかず：今日のところは 1950 年分裂のところまでたどりついたんだけど，もう一回やる必要がある。

資料1

「北海道旧土人保護法」に関する要望書（寫）

沿革をみるに、明治二十四年道庁が明治維新以来のアイヌ民族に対する保護政策として施行してきた授産指導を廃止して以来、同族は開拓使及び三県時代に於て割付された給与予定地や従来の所有地も転々と人手に渡し、また職に窮してついに生活にすら窮乏をみるに至つた。

ここにおいて、明治二十六年十一月二十九日北海道土人保護法案が、北海道在住のアイヌ民族をして土地を開墾せしめて、農業に就かしむることに努むべきことを骨子として立案され、第五回帝国議会に提出されたが、なお、法案によれば農業に従事しようとするもののみを保護せんとし、他の職業に従事するものは全くこれが恩典なきを以て、アイヌ民族全体の保護法としては公平を失すること、並びにこれによつて保護を受くべきいわゆる土人の範囲が明瞭でないこと、などの理由により同議会においては否決された。

その後明治三十二年に至つて道庁は、現行の「北海道旧土人保護法」案を立てこれを政府案として第十三回帝国議会に提出した。法案は二月十四日可決成立し明治三十二年三月二日法律第二十七号を以て発令され、同年四月一日より施行された。

顧みるに、同法の立法趣旨としては第一に、アイヌ系日本人に対して農耕を教えて自活の途を講ぜしめ、また教育を施して自立心を培つて同化をうながすとともに、貧困者に対しては救助あるいは救療を加えてこれを保護すること。第二には、アイヌ民族が従前より所有したる土地並びに農業に従事する者に無償下付したる土地に対してその所有権を制限し、もつて土地の散逸を防止することにより保護せんとしたこと、にあつた。ちなみに、アイヌ民族は土地に対する所有権の観念に乏しく、またその管理技術に欠ける面が多く、ために和人に欺瞞せられて不利益なる条件のもとに給与地のほとんどを賃貸し、若しくは詐取される例があり、必然的に制約を加えて保護をはかるほかなかつたものであろう。こうした当時の社会情勢を思うとき、この保護法もそれなりの効果をもたらしてきたであろうことは否めない。しかし近時

教育が進み民族として全く混和した状態においては、今更き憂に過ぎないというべきである。

爾来、社会福祉国家としての施策の拡充強化と経済の発展に伴う財政の伸長により、生活保護法など幾多の法令の制定をみるに至つて同法は、農具・種子の給与に関するもの、傷痍・疾病者の救済及び薬価の支給に関するもの、同じく埋葬料の支給に関するもの、貧困者の子弟に対する教育助成措置に関するもの、部落形成地においての国費による小学校の設置に関するもの、および罰則の定めなどの諸規定が数度にわたつて削除・改正せられ、ついに同法も全くその意義を失つてきた。

かくて、保護法とはいえ今日においてはもはや同法上保護に当るべき条項のほとんどが実効性を喪失しているものと考えられる。すなわち、同法はすでに死文化し現在では土地所有権の制限を除いて、同法による農耕の奨励、教育の徹底、また生活環境の向上改善を目的とする施設は全く実施されておらず、今日において保護法は給与地所有者のみを対象としたものに過ぎないわけである。

さらに、同法により下付された共有地も戦後の農地法によつて、そのすべてが不在地主として開放せられている事実と、譲渡の場合における北海道知事の許可はすでに支庁長の専決事項となり、譲渡の適否も農地法に基づく審査が先議されその決定に対しては保護法による制限は全く無きに等しい事柄も無視できないところである。また、農業に従事する者に対する土地の無償下付についても、戦後においてはすでに下付すべき土地はなく、この適用はおよそ困難にして事実上不可能の状態にあることは自明のことである。

そのうえ、同法にいう「旧土人」の定義すら詳らかでない。ひるがえつて、同法の制定当時においてすら「明らかに誰れが見ても解るものだけは〈アイヌ〉の旧土人として取扱う」という極めてあいまいなものであり、まして今日においてはいかなる方途によりその識別を得ようとするのか。

本来、所有権は目的物を所有者の自由なる意思に従つてどのようにでも利用し得る極めて弾力的なものである。しかし、所詮は所有権もその内容と行

使において等しく公共の福祉との調和という問題に直面せざるを得ないところであるが、前記の事由によつて明らかなように、保護法における制限は農地法による農地の権利移動の制限と同視すべきものではない。これは社会的要請による農地法の制限の場合とは異なり、保護法にあつては合理的妥当性がもはや今日においては見い出し得ないというべきであつて、むしろ同じ日本国民のあいだにおける人種的な差別感を温存させているものといえる。

すなわち、少数のアイヌ系日本人に対してのみ、その土地所有権を制限することは、これを合理的差別とすることはできず、法の前の平等を宣言する憲法の理念に反し、基本的人権侵害の疑いなしとしない。

もとより、保護法が一概にアイヌ民族を身分的或いは階級的にこれを差別し、法の適用において現実の社会生活のなかに具体的な不平等をもたらしてきたとはいえず、かえつて経済生活におけるさまざまな不均衡を是正して、同族を生存の脅威から解放する実質的な平等の実現に寄与してきたことは勿論である。

そこで、前記の合理性も時代の変遷と現実的な社会生活の具体的条件のもとで判定せらるべきであり、従つて保護法の今日的価値もかかる観点から評価されその存廃が問われなければならない。また、「旧土人」なる名称の是非についても同様と考える。

そのほか、同法の存廃に関し道内においては比較的に関心がうすいとされている日高地方においてすら、昭和三十七年に行なわれた日高支庁によるアンケート調査結果によれば、問のうち①保護法を改正し援護措置をもりこむべきである。②保護法を廃止すべきである。③新たに法律を制定すべきである。以上三つの意見を合わせると実に五〇・五パーセントにも及び、一方、保護法は現行のまゝで良い。とするものは僅かに六・七パーセントに過ぎないことにも注目すべきである。

以上の見地から、近代社会における法の適用においての差別なき円満至当な平等を回復実現すると同時に、アイヌ系住民の個人としての尊厳の保持をはかるために、もはや実効性なく、かつ合理性の認められない保護法を存続

することの是非について、すみやかに検討すべきであると確信する。それは、現に実施せられている北海道不良環境地区改善事業が生活環境改善のための共同利用施設整備事業のみに止どまっている情況から、保護法にかわるべき施策としてこの事業を推進すべき計画の実施と、事業の一環としての住宅対策はもとより、子弟に対する高等教育の育英措置の拡大にも益することになるからであり、加えて、優れたアイヌ文化の保存と伝承を保護するための法的措置も併せて期待されるからである。

ここにおいて、「北海道旧土人保護法」はその内容において人権擁護上多くの問題をもつており、少なくとも改正が必要と思われるので、「道」におかれては新しい人権感覚に徹し、アイヌ系住民の問題を単に社会福祉事業対策としてのみに扱うことなく、広い行政的見地からすみやかに調査と検討の措置を講じ、もつてアイヌ系住民の人格尊重と差別的意識の払底に努められるよう、当連合会の名において要望するものであります。

昭和四十五年六月二十六日

旭川人権擁護委員連合会

（水落氏所蔵文書）